

内科専門医研修プログラム



- ☑ 柔軟性のある研修ローテーションにより、早期からサブスペシャリティを見据えた研修が可能。
- ☑ 基幹施設には内科指導医が22名在籍し、個々の研修状況に応じた指導・サポート体制を完備。
- ☑ 自身のサブスペシャリティやキャリアパスに応じて9つの連携施設から研修先が選択できる。

本プログラムは当院を基幹施設(内科系病床233床、内科系診療科9科)として、連携施設となる9つの病院と研修施設群を構成しており、十分な症例数を持ち、専門医取得のための質の高い研修がおこなえる環境が整っています。

3年間の研修期間を通じ、各内科領域の基本的臨床能力を幅広く身につけ、地域の実情に合わせた実践的な医療も行える内科専門医の育成を目指します。また研修達成度によっては早期からサブスペシャリティ領域での研修も十分行えるように研修計画を組み立て、各領域での専門医の取得がスムーズに行えるように配慮しています。プログラム修了時には内科医としての自信を持つことができ、さらに診療能力を磨きあげていける土台を築くことができるプログラムです。

※ 脳神経内科領域に関しては、連携施設ローテーション中に研修

研修スケジュールの例1(基本型)



研修スケジュールの例2(Subspeciality重点型)



診療科別実績

診療科別実績	入院患者数実績	外来延患者数
消化器内科	2,449 人	22,231 人
循環器内科	3,322 人	18,936 人
内分泌・代謝内科	390 人	17,084 人
腎臓内科	544 人	7,908 人
呼吸器内科	1,926 人	13,786 人
血液内科	422 人	5,193 人

連携施設

連携施設	内科系病床数	内科系診療科数
静岡県立総合病院	379 床	9 科
静岡赤十字病院	176 床	8 科
静岡済生会総合病院	140 床	8 科
静岡市立清水病院	108 床	6 科
静岡厚生病院	48 床	2 科
京都大学医部附属病院	380 床	10 科
国立循環器病研究センター	300 床	7 科
静岡県立がんセンター	300 床	13 科
共立蒲原総合病院(特別連携施設)	128 床	5 科

内科プログラム責任者からのメッセージ

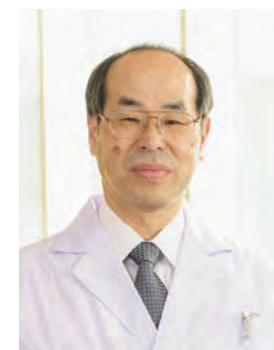
当院の研修目標として、まずは内科医として広くgeneralに対応できる医学的能力を身につけるとともに、チーム医療の一員としてのコミュニケーション力、問題解決力の育成を図ります。

当院では内科の各分野にわたってガイドラインに基づいた専門的な治療を行っており、サブスペシャリティ領域を目指すための豊富な症例も経験することができます。上級医と専攻医、研修医との垣根が低いため症例毎にきめ細かい指導を受けることができ、将来専門医としてキャリアを形成していく上での基礎を十分に学ぶことができます。

恵まれた環境のなかで、ぜひ私達と一緒に内科医としてのスタートを踏み出してみませんか。

教育研修管理センター
副センター長
循環器内科

縄田 隆三



内科専攻医

齋藤 研

先輩からのメッセージ

皆さんは専門医研修先を選ぶ時に何を重視しますか。私は救急科専門医を取得した後、循環器系のサブスペシャリティを目指し、静岡病院の内科専門研修にエントリーしました。当院は循環器系診療においては県内屈指の施設であり、若手から積極的に実践(CAG、PCI、ECMO、IMPELLA等)を経験できます。

私はそのような研修環境に憧れて当院を選びましたが、入社してから一番強く感じたことは職場環境の良さです。大病院に比べて、他科との垣根が低く、気軽に何でも相談できます。内科専攻医としての症例数も豊富であり、どの科でも優しく丁寧な指導が受けられます。静岡病院は色々な意味で「ちょうど良い」研修先だと思います。是非一度見学にお越しください。

手技・診療実績

※平成30年度～令和2年度平均値

循環器内科	冠動脈インターベンション延数【493.0例】、カテーテルアブレーション【256.7例】、TAVI(TF+TA)【69.3例】、急性心筋梗塞患者数【130.3人】
消化器内科	上部消化管内視鏡検査【3944.0例】、下部消化管内視鏡検査【2490.7例】、ESD(食道・胃・大腸)【81.3例】、ERCP(内視鏡的膵胆管造影)【336.7例】、RFA(経皮的ラジオ波焼灼療法)【94.7例】
血液内科	白血病新患者数【38.7人】、リンパ腫新患者数【88.7人】、骨髄腫新患者数【21.3人】
呼吸器内科	1日の平均患者数(入院)【3.1人】、1日の平均患者数(外来)【69.7人】、気管支内視鏡検査数(年間)【236.7例】
内分泌・代謝内科	入院:2型糖尿病【130.3件】、入院:1型糖尿病【14.7件】、内分泌負荷試験【127.7件】
腎臓内科	透析導入者数【79.3人】、アクセス関連手術:内シャント増設【91.3例】、人工血管シャント増設【37.0例】、小手術:PTA・その他【167.7例】、腎生検数【29.0例】

指導体制

新専門医制度内科指導医(J-OSLER指導医)	… 22名	日本呼吸器学会呼吸器専門医	… 5名
日本内科学会総合内科専門医	… 19名	日本呼吸器内視鏡学会専門医	… 3名
日本消化器病学会消化器病専門医	… 5名	日本血液学会血液専門医	… 1名
日本循環器学会循環器専門医	… 11名	日本アレルギー学会専門医	… 3名
内分泌代謝科専門医	… 1名	日本消化器内視鏡学会専門医	… 3名
日本糖尿病学会専門医	… 2名	日本高血圧学会高血圧専門医	… 1名
日本腎臓学会腎臓専門医	… 2名	日本不整脈心電学会不整脈専門医	… 1名
日本透析医学会透析専門医	… 2名	日本心臓インターベンション治療学会専門医	… 4名

内科専攻医採用試験・勤務条件のご案内

詳しくはQRコードからチェック!



募集定員	8名	身分	非常勤嘱託職員(地方独立行政法人職員)
応募資格	卒業後2年間の臨床研修を修了した者、あるいは臨床研修を修了見込みの者	給与・手当・賞与	※1年ごとに更新 給与:月額平均950,000円程度(時間外手当を含む) 手当:当直手当、住居手当等は別途支給 賞与あり ※連携施設研修中の処遇は研修先の規程に準じます
選考日程	毎年夏以降に開催(令和3年度は7月以降随時開催)	休暇	年次有給休暇年間20日、夏季休暇5日、慶弔休暇、産前産後休暇等
選考方法	書類選考及び面接	その他	健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険加入、医師賠償責任保険(病院にて加入)、院内保育施設あり
出願書類	①申込書(当院指定)、②履歴書(当院指定)、③臨床研修修了(見込)証明書(様式任意)、④医師免許証の写し、⑤推薦状(現在所属の施設長、所属長又は教育研修管理部門の長)		